撮影／編集部
解説／顧 蘭亭
訳／内海 達志

CD TRACK 17～20

段 躍中 だん・やくちゅう

（日本僑報社編集長・日中交流研究所所長）

Duan Yuezhong

中日関係の問題は、両国民の交流の基礎があれば解決できるはず

2008年、日中文化交流などに貢献した個人に贈られる「日中学院倉石賞」「小島康誉国際貢献賞」をダブル受賞した日本僑報社編集長の段躍中さん。これまでの自身の活動、今後の日中関係の展望などについて話を聞いた。

1958年、湖南省生まれ。有力紙『中国青年報』の記者・編集者として活躍後、1991年に来日。新潟大学大学院の現代社会文化研究科で博士号を取得。1999年、日本僑報社を設立しメールマガジン発行や出版事業を展開。これまでに日中関連の書籍180冊以上を刊行している。また2005年より日中作文コンクール、2007年より星期日漢語角、2008年より日中翻訳学院を主宰。日中交流のための積極的な活動が高く評価され、2008年に「日中学院倉石賞」「小島康誉国際貢献賞」を受賞。『現代中国人の日本留学』（明石書店）、『日本の中国語メディア研究』（北溟社）など著書多数。

CD TRACK 18 问▶各位朋友，大家好！欢迎来到“你好茶馆”栏目。今天我们非常荣幸地请来了日中文化交流的使者——段跃中先生。段先生，您好！

Q▶皆さん、こんにちは！「にいはお茶館」へようこそ。今日は光栄なことに、日中文化交流の使者である段躍中さんをお招きすることができました。段さん、こんにちは！

段▶你好！

段▶こんにちは！

问▶首先祝贺您荣获“日中学院仓石奖”以及“小岛康誉国际贡献奖”，能谈一下您此刻的心情吗？

Q▶まずは「日中学院倉石賞」「小島康誉国際貢献賞」の受賞、おめでとうございます。今の心境をお聞かせいただけますか？

段▶非常高兴接受你的采访。这两次获奖是托大家的福，也是大家支持的结果，所以我首先应该感谢所有的读者、听众。是所有的日本朋友、中国朋友支持我，才有了今天这个获奖的机会。

段▶こうしてインタビューしていただき、非常にうれしく思います。二つの賞を受賞できたのは、皆さんのおかげであり、支持していただいた結果ですから、読者、リスナーの皆さんに感謝しています。日本の友人、中国の友人の応援があったからこそ、今回、このような賞を受賞するチャンスをいただいたのだと思っています。

问▶您刚来日本的时候，遇到了很多的挫折，或者说是坎坷，那您是怎么走过的呢？

Q▶日本へ来たばかりのころは、多くの挫折や困難を経験されたと思いますが、どのように歩んでこられたのですか？

段▶要说起这个留学的过程，酸甜苦辣※1都有。我学日语完全是自学的。我在来日本一年的时候，我写的稿子在日本最大的报纸《读卖新闻》给刊登出来了，这个对我是一个很大的这个鼓励。从那以后，我就不断地给各个报纸投稿，所有的日本全国性的大报，还加上一些地方性的报纸，我投的日语稿件都刊登了，一共加起来将近两百篇，这个对我来说是学习日语、克服早期的困难的一个非常有效的方法。

段▶留学時のことについて言えば、いろいろと辛酸苦楽がありました。わたしの日本語はすべて独学です。日本へ来て1年目に、わたしが書いた原稿が日本で最大の新聞である『読売新聞』に掲載され、これが大きな励みになりました。その後、何度も各紙に投稿し、すべての全国紙、さらには一部の地方紙にも、わたしの日本語の原稿が掲載されました。掲載された原稿は、全部で200編近くになります。これはわたしにとって、日本語学習や来日当初の困難を克服する上で、非常に有効な方法となりました。

问▶您刚来日本的时候的梦想可以问一下吗？

Q▶日本へいらっしゃったとき、どんな夢がありましたか？

段▶其实开始的时候也谈不上什么很具体的梦想，但是因为喜欢看书，老※2到日本的图书馆去，老到日本的书店去，看了好多好多的书。当时看到日本的这么多的好书，这么多书店，有这么多的有关中国的书籍，我就梦想有一天我写的书也能够在日本的书店出现；还有一个就是，今后如果有条件的话，我也想开一个出版社，出很多的有关中日关系的书。现在这个梦想应该来说是已经实现了一部分。

段▶来たばかりのころは、具体的な夢といえるようなものは特になかったのですが、読書が好きだったので、いつも図書館や書店へ行き、たくさんの本を読みました。当時、日本にこれほど多くの良書があり、書店があり、中国関係の書籍があることを知り、いつの日か自分が書いた本が日本の書店に並べばいいなという夢を持つようになりました。そして、将来、条件が整えば、出版社を作り、中日関係の本をたくさん出したいとも考えました。今、その夢は、一部実現したといえます。

CD TRACK 19 问▶您说出版，包括您自己写书，还有包括您策划的这个“日中作文大奖赛”，还有“星期日汉语角”，您从事这么多工作，您的动力是从何而来呢？

Q▶出版をされ、ご自身で本も書き、さらには「日中作文コンテスト」や「星期日漢語角（日曜日に開催される中国人と日本人の集い）」を企画されたり、これだけ多くの仕事に従事されている原動力は、どこから来ているのですか？

段▶动力，首先我作为一个记者有这种使命感吧。因为我来日本已经十八年了，一直把所见所闻以发信者这种姿态告诉读者，这种使命感就让我想不能够光是出版，还

段▶原動力というなら、まずわたしには記者としての使命感があります。日本へ来てもう18年になりますが、自分が見聞きしたことを、常に発信者の立場で読者に伝えてきました。この使命感が、出版のみな

提示！（ポイント！）

※1 **酸甜苦辣** suān tián kǔ là
四つの違う味を表す言葉を用いた成語。人生で経験する苦楽のたとえ。
◇例：这位老人尝遍了人生的酸甜苦辣。（この老人は人生の苦楽を味わい尽くした）

※2 **老** lǎo
動詞または動詞フレーズを修飾し、ある動作、行為が長い間に持続、または繰り返して行われることを表す副詞。強調する場合は「老是」を用いる。
◇例：最近地铁老晚点。（地下鉄は最近よく遅れる）

『寄語奥運　寄語中国』
段 躍中編／日本僑報社（1995 円）
2005 年から始まった日中交流研究所主催・中国語作文コンクールの第 3 回受賞作品集。『寄語奥運　寄語中国』をキーワードに 36 本の作品を日中対訳で収載。過去 2 回の受賞作品を収めた『女児陪我去留学』（1995 円）『我們永遠是朋友』（1890 円）も好評発売中。プレゼント情報は P.8 参照。

应该有一种社会服务或者是社会贡献，这种精神一直在支持着我。再一个就说，作为一个在日中国人，我就感到日本媒体对在日中国人了解还是不太全面的，很多活跃在日本的中国人的信息并没有被报道出来，所以我的一个很朴素的想法就是想把活跃在日本的中国人的信息告诉更多的日本朋友，告诉更多的中国朋友。

らず社会奉仕や社会貢献もしなければならないと駆り立て、その気持ちがずっとわたしを支えてきたのです。もう一点は、一人の在日中国人として、日本のメディアの在日中国人に対する理解が十分ではなく、日本で活躍している多くの中国人に関する情報が報道されていないと感じていることです。ですから、素朴な考えではあるのですが、彼らの情報を多くの日本の友人、中国の友人に伝えたいと思いました。

问▶在您的电子杂志或者在您出版的刊物当中，有一些与国内的报导持有不同观点的。对于这个问題，谈谈您的想法好吗?

Q▶あなたが出されているメールマガジンや出版物のなかで、（中国の）国内報道とは視点が異なるものがありますが、この点について、どのようにお考えなのか聞かせていただけますか？

段▶可以。我的一个基本的方针就是，在海外的出版社尤其我们华人出版社应该是站在一个中立的立场，就是报道两国的事情不偏不倚※3。我们希望我们的国家越来越好，在新闻报道方面做得更好。通过我们在海外的这种出版物，给我们海外的华侨、华人，或者海外的读者提供一个信息：就是中国是在改革开放，在进步。虽然有一些问题，但是通过协商是完全可以解决的。我们想把事实实实在在地报道出来，让更多的人来参加，把中国的改革开放做得更好。所以我们最近又出了一些有关言论自由啊，新闻改革方面的一些书籍。我们有好几本

段▶はい。海外の出版社、特にわれわれのような華人の出版社は、中立的な立場でなければならず、両国に関する事柄について偏った報道をしてはいけない、というのがわたしの基本方針です。われわれは、自分たちの国家がますますよくなり、報道の面でもさらによくなることを願っています。このような出版物を通して、海外の華僑、華人、海外の読者に情報を提供したいと考えています。それはつまり、中国は改革開放を進め、進歩している国なのだ、ということです。いくつかの問題はありますが、しかしそれは話し合いによって完全に解決することができます。われわれは事実をありのままに報道することで、より多くの人に参画してもらい、中国の改革開放をさらに成功させたいと考えています。ですから、最近、言論の自由や報道改革に関する書籍を出版しました。出版した何冊かの本は、

提示！（ポイント！）

※3　**不偏不倚**　bú piān bù yǐ
成語。どちら側にも味方せず、公正、中立のたとえ。
◇例：法官判案应不偏不倚。（裁判官は案件を審理する際、公正に行うべきだ）

书被评为日本图书馆协会的推荐图书。我们也出了有关批判日本军国主义的一些书，包括我们出了一个叫 8•15 系列。

日本図書館協会の推薦図書に選ばれました。また、日本の軍国主義を批判する本も出しており、その中には「8.15 シリーズ」と呼ばれるものも含まれています。

CD TRACK 20 问▶中国和日本将来的关系的走向，请您做一个展望。

Q▶この先、日本と中国の関係は、どういう方向へ進んでいくのか、展望をお聞かせください。

段▶我个人的体会，我是一个乐观派。我在日本已经十八年了，我所见所闻所感：在日本，绝大多数的国民还是希望中日两国和平友好相处下去。我个人感觉中日关系在今后的发展过程当中，会出现一些问题，肯定避免不了，但是有这么一个国民的交流的基础啊，应该来说解决起来很方便的。我觉得两国的修好关键还是在于民众，作为一个中国人尽可能地为中日交流服务，起桥梁作用。

段▶わたし個人の感覚では楽観的に考えています。日本でもう 18 年生活していますが、わたしが見たこと、聞いたこと、感じたことを踏まえて言うなら、日本の大多数の国民は、中日両国が平和的友好的に付き合っていくよう願っていると思います。わたし個人は、中日関係は今後の発展の過程において、いくつかの問題が出現することは避けられないと思っています。しかし、国民交流の基礎があれば、そうした問題もうまく解決できるはずで、両国が友好関係を築くカギは、やはり民衆であり、一人の中国人として、中日交流の架け橋になれるよう全力を尽くしたいと考えています。

问▶对于您来说，中国及日本意味着什么?

Q▶あなたにとって、中国と日本はどんな存在ですか？

段▶中国对我来说的话，永远是生我养我的故乡，这个是永远不会变的。那么在日本现在已经这么多年了，家也在日本，小孩在日本上学，自己的事业也是以日本为中心。对我来说的话，都是一个能够让我发挥我的才能或者是我的作用的这么一个地方吧。祖国和第二故乡。

　你把自己在异国他乡喜欢做的事情做好，首先，我想就会在异国他乡留下你的一行足迹。那么你把这行足迹再延伸到你的祖国去，起一个桥梁的作用，沟通的作用。虽然这条路可能从来没有人去走过，但是这条路肯定会越走越宽。

段▶中国は生まれ育った故郷であり、それは永遠に変わることがありません。日本については、すでに長年生活し、家があり、子どもも日本の学校に通っており、事業も日本が中心となっています。いずれも自分の才能を発揮し、活躍することができた場所であり、祖国と第二の故郷といえます。
　もし異国の地で、好きなことをして成功したいと考えるなら、まずはその道で自分の足跡を残すことです。その足跡を今度は祖国にも発展させれば、両国の架け橋となり、コミュニケーションの作用を果たすことができます。その道は誰も歩いてこなかった道かもしれませんが、道は歩むほどに広くなっていくと思います。

Profile
■顧蘭亭（Gu Lanting）　北京第二外国語大学日本語科卒。お茶の水女子大学大学院修士課程修了。ISS インスティテュート講師。冬期アジア大会などで通訳を務めたほか、『JET プログラム日本語講座・通訳 / 翻訳コース』（アルク）、NHK 語学講座のテキスト『エリンが挑戦！にほんごできます。』（NHK 出版）など翻訳多数。